

## ● HID 固有の特徴

下記の症状はHID特性によるものであり、本製品の故障ではありません。

### 左右のランプの色違い

製品の特性上、左右で多少の色の差が出る場合があります。点灯が安定しても左右の色に極端な差が出る場合はお買い求めの販売店までご相談下さい。

### バルブの色の变化

HIDバルブはシステムの特性により、点灯直後に徐々に色が変化します。この変化は10秒～30秒程度で安定します。

### バルブの瞬き

HIDバルブの触媒は24時間で安定します。安定する迄のバルブの瞬きは異常・故障ではありません。

### 左右で点灯するタイミングが違う

HIDの特性により、左右のバルブの点灯のタイミングが多少ずれる場合がありますが、異常・故障等ではありません。

### 点灯/消灯における安全装置

点灯/消灯を繰り返すと、バラストの安全装置が働き、バルブが点灯しない事があります。この場合、スイッチを一度OFFにし、約10秒待ってから(安全装置が解除されます)、再度ONにすると点灯します。

## ● チェック事項

### 点灯しない(左右)

- ライトのスイッチはONになっていますか？ ➡ スwitchをONにして下さい。
- コネクター などは確実に接続されていますか？ ➡ 確実に接続して下さい。
- 車輛側ライトのヒューズは切れていませんか？ ➡ 新しいヒューズと交換して下さい。(15A)
- 車輛側ライトのヒューズ(15A)は切れていませんか？ ➡ 新しいヒューズと交換して下さい。(15A)

### 左右点滅する

- バッテリーの状態を確認して下さい。 ➡ エンジンをかけ、回転数をあげて試して下さい。  
蓄電量が少ない場合は充電をして下さい。

## ● 安全上の注意

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は安全に取付、使用していただくために、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

- 誤った使用による事故などの責任は一切負いかねますのでご了承下さい。
- この取扱説明書には保証書が付いております。大切に保管して下さい。

### 警 告

【安全意識の喚起】

- 本製品は高電圧を発生させる仕組みが組み込まれています。このため高電圧感電による、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性がありますので、お取り扱いには充分ご注意下さい。

【専門工場での取付勧告】

- 本製品の取付けには、専門知識と習熟した技術を必要とします。一般の方は専門整備工場に取り付けを依頼して下さい。

【分解・改造の禁止通告】

- 本製品の分解・改造は絶対に行わないで下さい。  
分解・改造によって高電圧スパーク、絶縁不良、回路のシート等本製品の故障や車両火災の原因となります。また分解・改造をした製品は、保障を受けられません。

【使用及び取付の重要注意事項】

- 点灯中のバルブを直視しないで下さい。視覚障害の原因となります。
- 点灯した状態や消灯直後に、バルブに触れないで下さい。バルブが非常に高温になっており火傷の原因となります。
- 本製品に損傷を発見した場合は直ちに作業を中止してください。
- 本製品は精密な電子機器です。落したり、配線を引っ張ったりしないで下さい。

### 注 意

!! 本製品は、自動車用HIDキットです。適合する自動車以外には、取付ないで下さい。

!! 点灯時や消灯直後は、バルブに水を直接かけたり、手で触れないで下さい。バルブが非常に高温になっており、火傷の原因となります。また、水をかけると急激な温度差によりガラス割れの故障原因となります。

!! バルブを落したり、キズを付けたり、無理な力を加えないで下さい。  
バルブの破損、性能の低下、バルブの寿命を縮める原因となり、ケガの原因にもなります。

!! 本製品を使用中、少しでも異常を感じた場合は、お買い求めの販売店までお問合せ下さい。

!! 本製品は12V電源車両専用です。12V以外の電源では使用しないで下さい。

## ● 使用上の注意

!! ご使用前に必ず光軸の調整を行って下さい。

!! 光軸が合っていないと車検対応出来ません。また対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。ご留意下さい。

!! 本製品は、車検対応品(6000Kのみ)として製造しておりますが、お取り付けいただく車両の個々の状態差や製造検査と点検検査の測定機の違い等により車検に適合しない場合があります。

!! 誤った使用、改造されての使用、他社製品との併用等によるトラブルは、その原因の内容に関わらず、一切クレームの対象となりませんのでご注意下さい。

!! ライトの点灯と消灯の繰り返しを頻繁に行わないで下さい。  
バルブの寿命が短くなったり、不点灯など故障の原因となります。

!! エンジンを切った状態でライトを点灯させておくと、バッテリーが上がリエンジンがかからなくなる場合があります。また、エンジンを切るときはライトスイッチをOFFにしてから、エンジンを止めて下さい。

!! 紙や布、ガソリン、可燃スプレー、シンナーなど燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないで下さい。